

大船渡地域戦略・海チームミーティング議事メモ

日時：2022年8月25日 14:00~15:30

場所：キャッセン大船渡コミュニティスペース

出席者：

大船渡温泉・志田繕隆

橋爪商事(株)・橋爪博志（オンライン参加）

キャッセン大船渡(株)・臂徹

おおふなと市民活動センター・木下雄太、金野紀子

《決まったこと》

- ・海チームの今後の活動は、ビーチクリーン活動、ジオパークや潮風トレイルへの参加、勉強会の開催・参加に取り組む。
- ・キャッセンから提案されている、大和リースの陸上畜養プロジェクトへの協力は今後理事会に諮ることとする。

《詳細》

○海プロジェクトでやりたいことのアイデア出し

志田：大船渡は漁業のまち。海からの恩恵を多大に受けているが、漁業は水揚げ量の減少、なりて不足など課題多。海の環境問題は一朝一夕で解決できるものではないので、長い目で活動する。

具体的にはビーチクリーン、ジオパーク、潮風トレイルなど、緩く考えている。みんなが活動しやすいものを、みんなが参加しやすいように取り組んでいきたい。

小松正之先生という広田出身の方のセミナーを聞いた。大船渡湾も広田湾も水質汚染が進んでいて、漁業に影響を及ぼしているのではというレポートだった。また大船渡に来るそうなので、みんなで話を聞く機会を持てたら。小松先生の調査に参加してみるのもいいのでは。環境問題は、漁業や建設業に否定的な話になる可能性もあるが、私はこの活動で漁業や建設業と喧嘩をしたいわけではない。それらも含めて、みんなで考える機会にできたらいいと思っているので、拙速に進めて早く結果を求めるとい活動ではなくていいと思っている。

木下：まちなみ大学で取り組んでいるまちなみ海ゼミ。三陸ボランティアダイバーズの佐藤寛志さん（通称くまさん）を講師にお呼びして、海ゴミを環境問題の学びの場に生かしている。大船渡地域戦略でもできたらと考えている。

橋爪：潮風トレイルをなんとかしたいと考えていた。会社としては、生コン等を扱っているので、海を頑丈に、使いやすくしていきましょうというスタンス。近年では磯焼けがひどいので、それを改善するために海に栄養を補給する資材を供給している。広田湾で県に頼まれて水質調査をして、実証実験に参加している。

大手のコンサル会社、スーパーゼネコンで藻場の再生を大規模な土木工事をしているので、そういう話も聞きたい。

臂：キャッセンでは大和リースさん他数社で協働し、陸上畜養のプロジェクトを立ち上げたが、出口戦略

を描けず、検討でストップしている。地域側のコーディネーターはキャッセンではなく、鎌田水産はじめ多様なメンバーで構成される大船渡地域戦略のような企業がいいのではと考える。

○勉強会で話を聞きたい人

- ・小松正之さん
- ・佐藤寛志さん（くまさん）
- ・かまいし DMC 河東さん
- ・自然を撮影している写真家の人。環境の発信のテクニックや視点を聞きたい。
- ・大槌の東大海洋研究所

以上